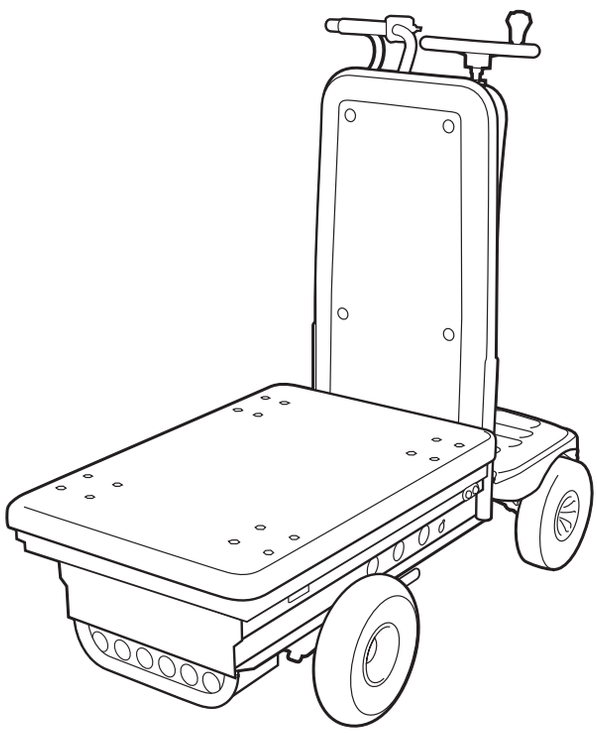
CANYCOM

マルチ電動カート

JASPER Electric Utility Cart ＥＪ１５

取扱説明書



⚠ 警　告

・本書を読んで理解するまでは、本製品の使用および保守・点検を行わないでください。
・本書は、本製品の使用または保守・点検を行う場合、いつでも参照できるように大切に保管してください。

4105 5101 001

株式会社 筑水キャニコム

〒839-1396　福岡県うきは市吉井町福益90-1
TEL (0943)75-2195（代）　FAX (0943)75-4396

株式会社 筑水キャニコム

■本社営業部 TEL 0943(75)2195 FAX (75)4396
■海外センター TEL 03(3552)6277 FAX (3552)6288
■東京センター TEL 03(3552)6255 FAX (3552)6288
■仙台センター TEL 022(281)1255 FAX (281)3141
■埼玉センター TEL 0495(77)4511 FAX (77)1561
■大阪センター TEL 0790(42)6031 FAX (42)6035
■広島センター TEL 0824(34)5996 FAX (34)5997
■福岡センター TEL 0943(76)2583 FAX (75)5126

連絡先控え（販売店名）

本書の無断転載、複写を禁止します。

本書について

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品の正しい操作および保守・点検方法を知っていただくために、詳しい情報を提供することを目的とし作成しています。本製品をご使用になる前に必ず本書を読み、理解された上で、正しい取り扱いをしてください。
なお、本書ははじめて本製品を使用される方を対象として作成しています。

⚠ 警　告

- 本書を読んで理解するまでは、本製品の使用および保守・点検を行わないでください。
- 本書は本製品の使用または保守・点検を行う場合にいつでも参照できるように大切に保管してください。
- 本製品には、潜在する危険があることを知らなければなりません。本製品の操作および保守・点検を行う場合は、必ず本書に従ってください。
- 本製品は公道および公道とみなされる道路での運転はできません。当該道路上での運転による事故および違反につきましては、責任を負いかねます。
- 本製品を改造して使用しないでください。重大な事故の原因となります。

本書の警告について

本書では、危険度の高さ（または事故の大きさ）にしたがって、警告用語を下記のとおり分類しています。以下の警告用語がもつ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警　告　用　語	意　味
⚠ 危　険	差し迫った危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重症を負う場合に使用されます。
⚠ 警　告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重症を負う可能性のある場合に使用されます。
⚠ 注　意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、中・軽傷を負う可能性のある場合に使用されます。また、本製品に物的損害が発生する場合にも使用されます。
アドバイス	注意を促したい場合、使用上役立つ情報について使用されます。

保証とアフターサービスについて

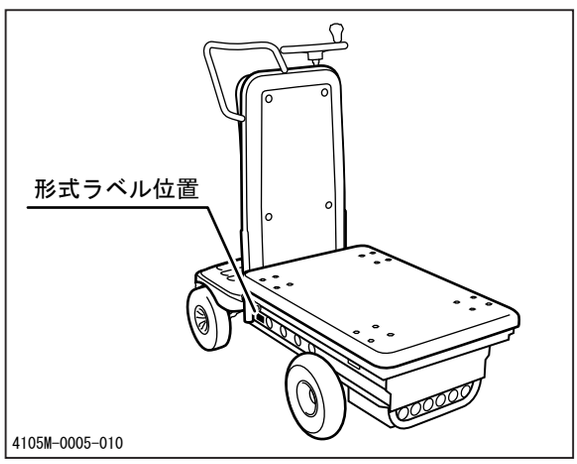
保証について

当社は本製品について、保証書の内容に基づいて保証をいたします。保証書の発行にはお客様登録が必要です。製品に同封のお客様登録カードをご記入の上ご送付ください。登録完了までの保証内容については本書巻末に貼付の仮保証書を参照してください。

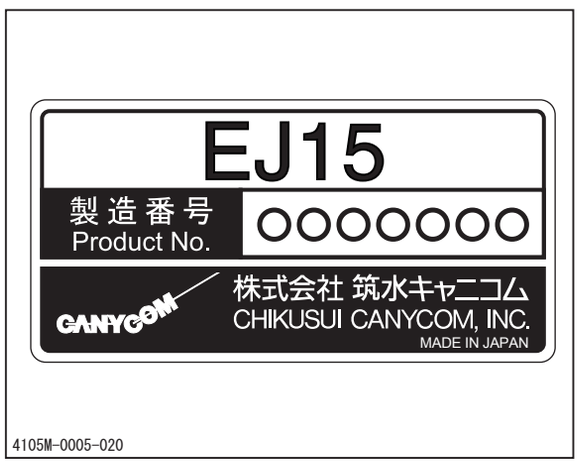
アフターサービスについて

ご使用中の不具合、ご不審な点およびサービスに関するご用命は、お買い上げいただいた販売店または当社センターへお気軽にご相談ください。その際、型式ラベルに記載の商品型式、および製造番号を併せてご連絡ください。形式ラベルは荷台下のフレームに位置しています。

型式ラベル位置



型式ラベル



補修用部品の供給年限（期間）について

本製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後7年とします。

目　　次

１．安全に関する注意事項　1

本製品に添付してある警告ラベルについて ・・・・・・・・・・・・ 1

安全運転・作業のための心得 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

運転前の心得 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

運転のしかた ・・・

６．不具合発生時の処置 31

不具合診断表 ・・ 31

７．本製品の移送 34

トラックへの積み降ろし要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

保証書

本書の巻末に添付

※本製品の取扱説明を受けた後に、受領証と共にお受け取りください。

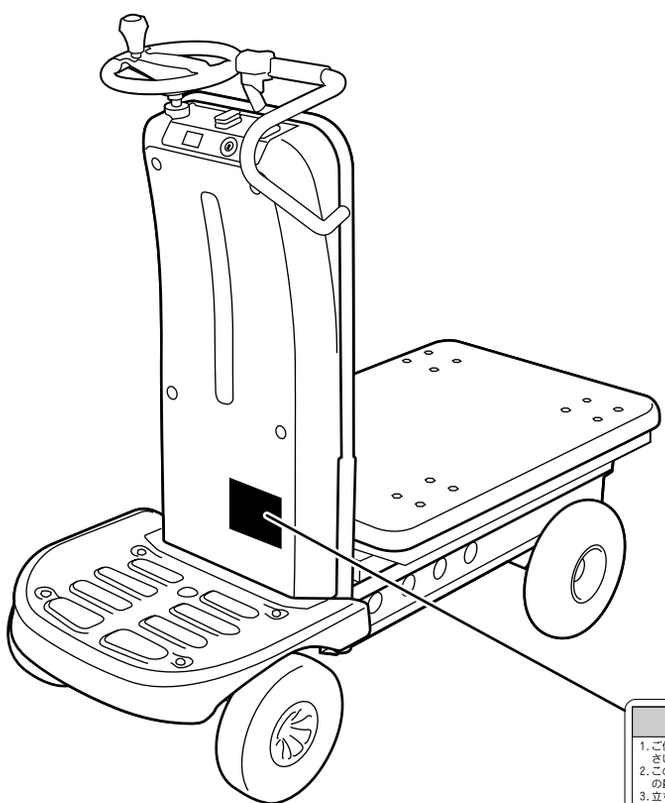
本製品に添付してある警告ラベルについて

本製品には下記の警告ラベルが添付してあります。
この警告ラベルは安全に関して特に注意を要する事項について記載してあります。本製品を使用する際には必ず警告ラベルの指示に従い、禁止事項は絶対に行わないでください。

・警告ラベルの位置および内容について十分把握しておいてください。

・警告ラベルは内容がわかるようにいつもきれいにしておいてください。
また、清掃には有機溶剤やガソリンを使用しないでください。

・警告ラベルを損傷・紛失したり判別できなくなったりした場合は、新品と交換してください。部品番号は本書または実物で確認し、販売店へ注文してください。



⚠ 注 意

1. ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
2. この車両の乗車定員は1名です。乗車ステップの最大許容加重は100kgです。
3. 立ち乗り運転時は手すりを持って体を保持してください。
4. 坂道や傾斜地での走行は特に気を付けてください。
5. 10°以上の傾斜地では運転をしないでください。車両が転倒するおそれがあります。
6. 荷台をリフトした状態で走行しないでください。転倒するおそれがあります。
7. 荷台の昇降時にははさまれないように注意してください。
8. この車両は公道では走行できません。
9. 最大作業能力を守ってください。過積載は事故、故障の原因となります。
10. 使用中はキーをＯＦＦにしないでください。車両が急停止する可能性があります。
11. 車両を離れる場合は必ずキーを抜いてください。
12. 分解する際はバッテリの端子を外してください。
13. 充電は火気の無い風通しの良い場所で行ってください。

※走行中に何か異常を感じたら、お買い求めのお店にご連絡ください。

⚠ CAUTION

1. Read Operator's Manual before using this machine.
2. Riding capacity of this machine is 1 person. Loading limit of the step is 100kg.
3. Hold the guide rail to keep posture when riding.
4. Use caution when using this machine on an incline.
5. Do NOT operate this machine on an incline steeper than 10°. Machine may turn over.
6. Do Not travel this machine with its loading deck other than the lowest position. Machine may turn over.
7. Keep any body part away from under the loading deck when lifting or lowering.
8. Do NOT operate this machine on public roads.
9. Do NOT exceed max. payload. Overloading may result in failure or injury.
10. Do NOT turn off the main switch while the machine is in operation. Machine may stop suddenly.
11. ALWAYS remove the key when leaving the machine unattended.
12. DISCONNECT the battery terminals when disassembling the machine.
13. Charge the battery in a well ventilated area with no open flame.

*If you notice any problem with the machine, please contact your local CANYCOM representative.

4105 5011 000

4105M-0101-010

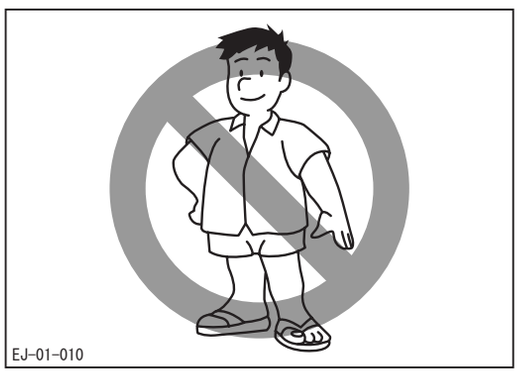
4105 5011 000

1 安全に関する注意事項

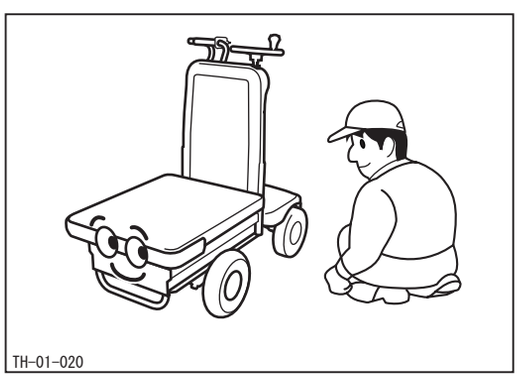
安全運転・作業のための心得

運転時・作業時に必ず守っていただきたい一般安全事項を記載しています。運転時・作業時には各章に記載されている安全事項についても必ず従い、安全運転、安全作業を心がけてください。

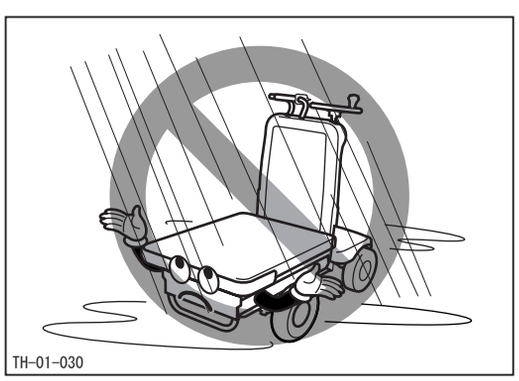
運転前の心得



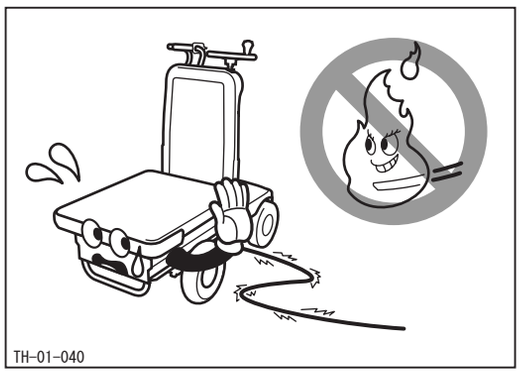
正しい服装と保護具の着用
運転・作業にふさわしい服装を心がけ、軽装やサンダル履き等で運転や作業をしないでください。



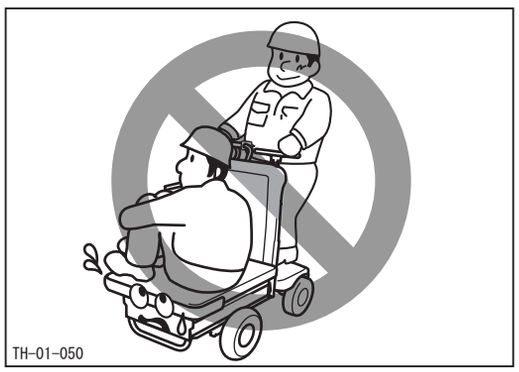
始業点検の励行
運転の前に必ず始業点検を行い、異常箇所はただちに補修してください。



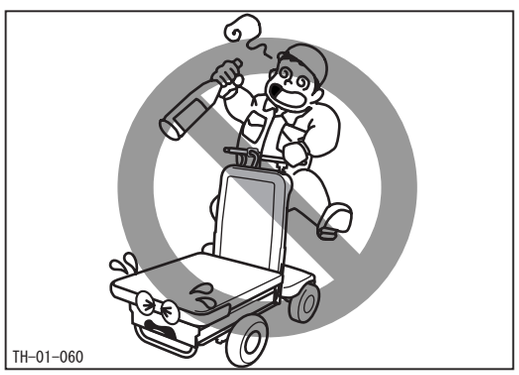
感電注意
雨天、水たまりのある路面での使用はしないで下さい。また、水濡れしないようにしてください。



火気厳禁
バッテリの充電中は火気を近づけないでください。

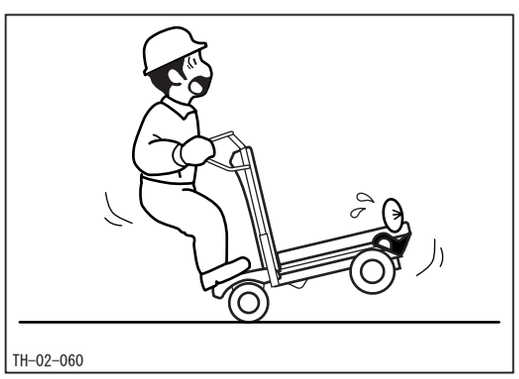


乗車禁止
本製品はステップ以外の乗車はできません。
また、運転者以外の人を乗せて走行しないでください。

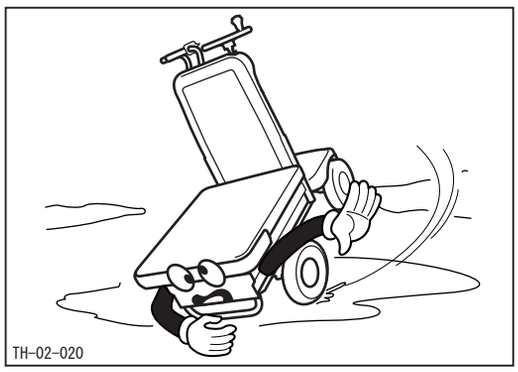


無謀運転禁止
飲酒時や体調不良時には運転・作業を行わないでください。また、本製品の運転・作業に適さない若年者による運転・作業も行わないでください。

走行時の心得

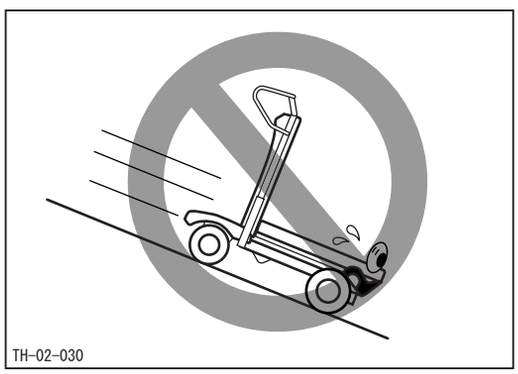


安全速度遵守
発進の前には必ず周囲の安全を確認し、走行時は走行路の勾配、路面の状態に応じた安全速度で走行してください。立ち乗り運転時は運転者が振り落とされたり車両が転倒したりするおそれがありますので、注意してください。特に空車時は転倒しやすいので十分注意してください。



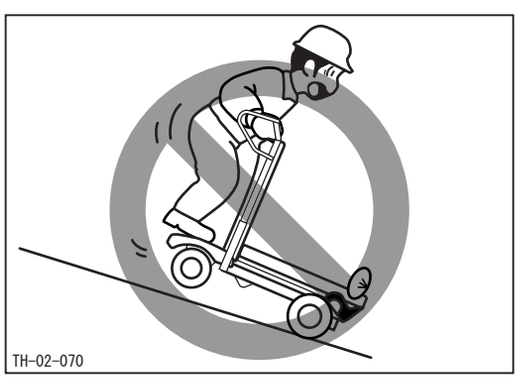
急発進、急加速、急旋回、急停止の禁止

急発進、急加速、急旋回および急停止を行わないでください。運転者が振り回されたり、車両がスリップや転倒をしたりするおそれがあり危険です。特に軟弱な地盤やぬれた路面では注意してください。



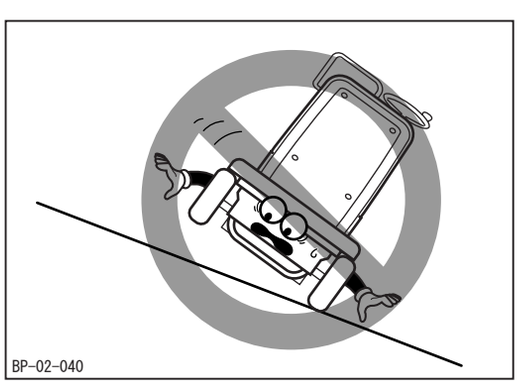
下り坂では低速で走行する

下り坂の前で一旦停止した後、低速で走行してください。



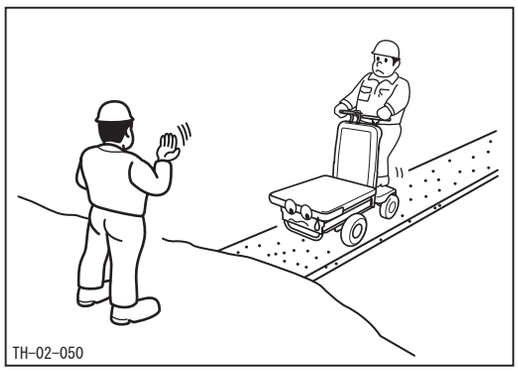
傾斜地での立ち乗り禁止

傾斜地では立ち乗り運転をしないでください。車両が転倒をするおそれがあります。



斜面の横断禁止

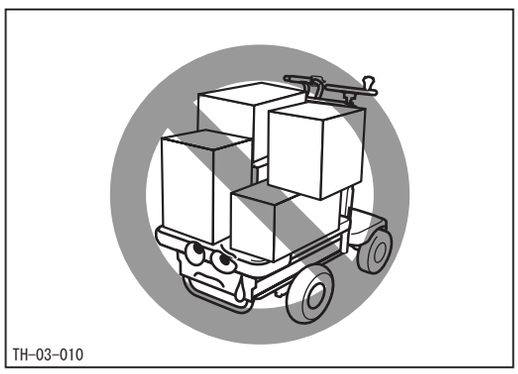
斜面はまっすぐ上り下りし、横断しないでください。車両がスリップや転倒をするおそれがあり危険です。特に軟弱な地盤やぬれた路面では注意してください。また、斜面での旋回は行わないでください。



危険な場所では誘導者の指示に従う

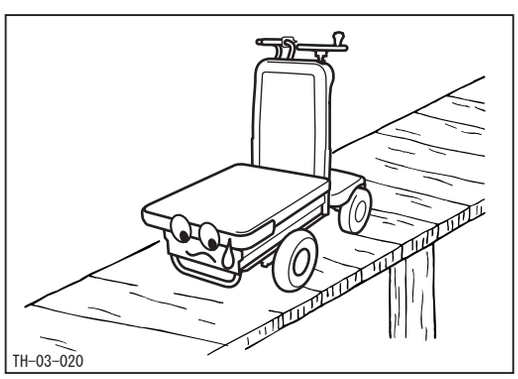
見通しの悪い場所や幅の狭い道、傾斜や起伏の激しい道では誘導者の指示に従い、安全確認を十分行ってから走行してください。

積載時の心得



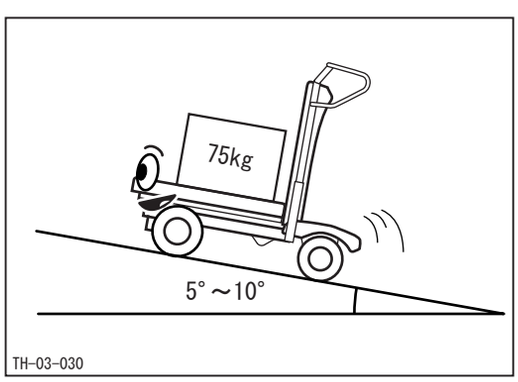
過積載禁止

本製品の最大作業能力を超える積載はしないでください。



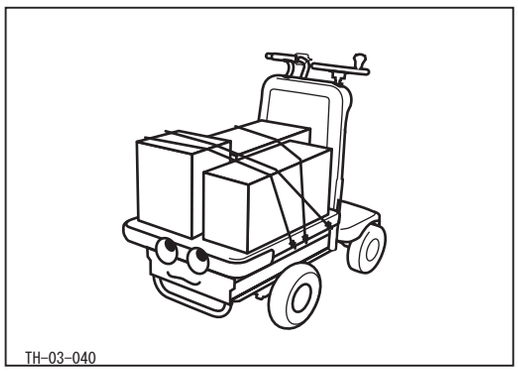
制限重量に注意

木橋等を渡る時は、機械質量と積載量および運転者の体重の総和が木橋等の制限重量を超えないことを確認し、一定速度で慎重に通過してください。



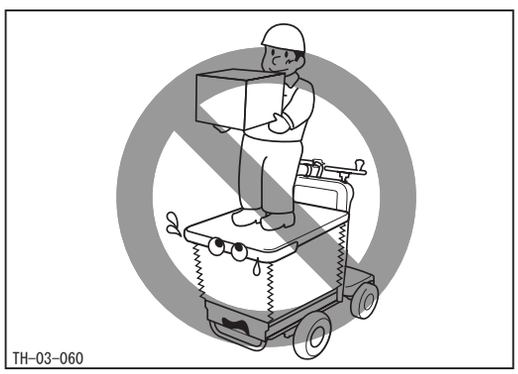
傾斜地での積載量に注意

5°～10°の傾斜地では積載量を75kg以下にして走行してください。10°～15°の傾斜地では空車で走行してください。15°を超える急傾斜地では、本製品を使用しないでください。



積荷は正しく載せる

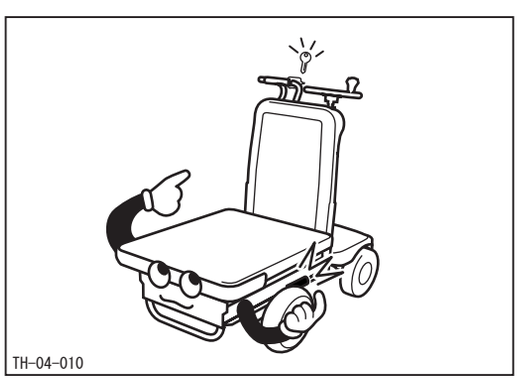
積荷は偏荷重にならないよう、荷台に均一に載せ、荷締めバンド等で固定してください。また、積荷の高さに注意し、視界を確保するよう注意してください。



荷台上での作業禁止

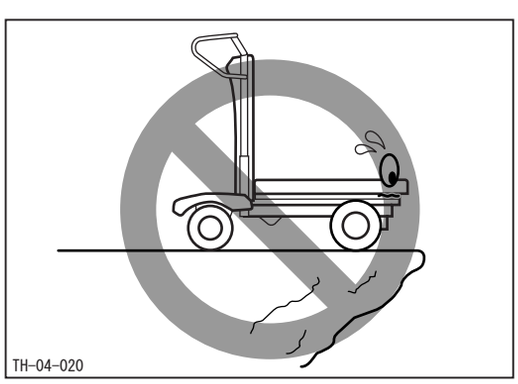
荷台に人を乗せてリフト操作を行わないでください。

駐車時の心得



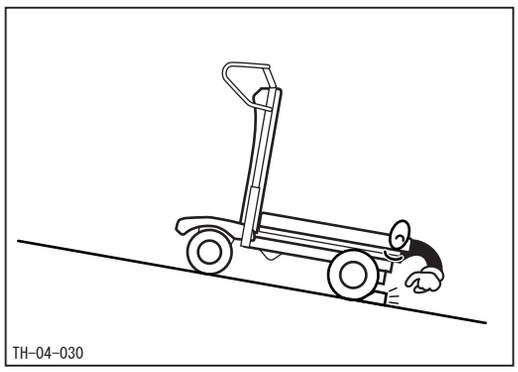
駐車時の安全確認

駐車時にはキーを忘れずに抜いてください。また、必ずブレーキをドライブの位置にしてください。



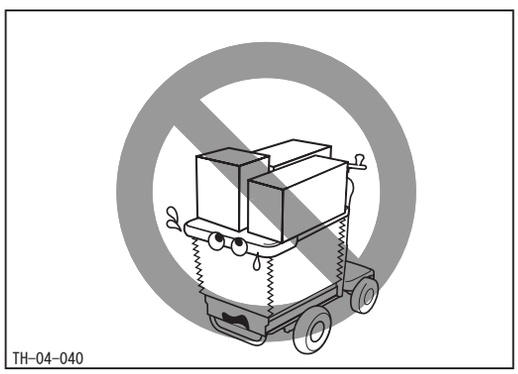
危険な場所での駐停車禁止

駐停車の際は地盤の固い平坦地を選び、危険な場所には駐停車しないでください。


TH-04-030

傾斜地での輪止め励行

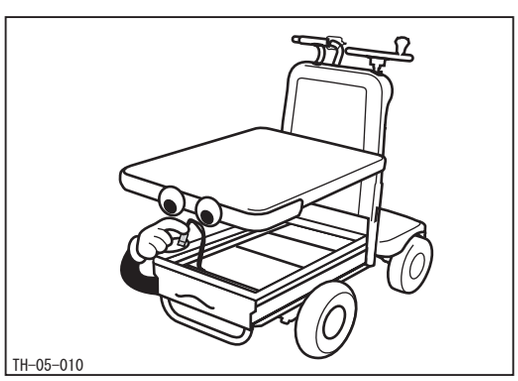
傾斜地には駐車をしないでください。やむなく傾斜地に駐車する際には、ブレーキをドライブの位置にし、輪止めをしてください。


TH-04-040

リフト状態での駐車禁止

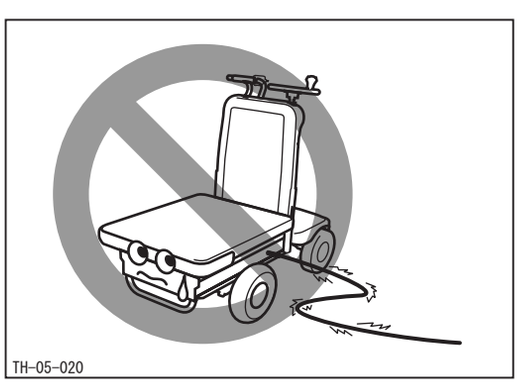
荷物を載せてリフトした状態で、駐車しないでください。荷物を載せた状態で駐車する場合はリフトを降ろしてください。

整備時の心得


TH-05-010

整備時はバッテリケーブルを外す

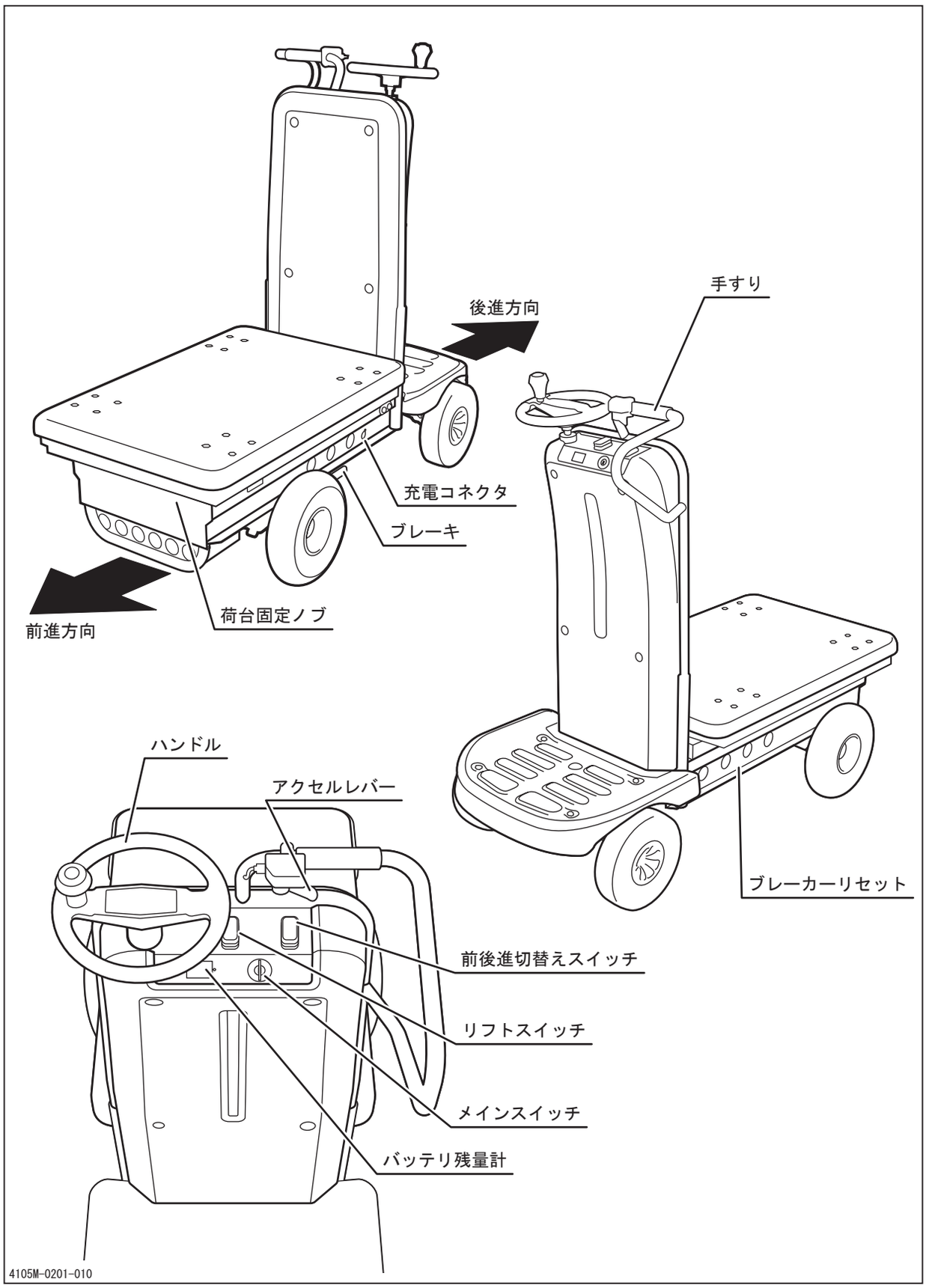
整備を行う時はバッテリケーブルのマイナス端子を外してください。


TH-05-020

充電中の整備禁止

充電中は整備を行わないでください。

各部の名称とはたらき


後進方向
手すり
充電コネクタ
ブレーキ
荷台固定ノブ
前進方向
ハンドル
アクセルレバー
ブレーカーリセット
前後進切替えスイッチ
リフトスイッチ
メインスイッチ
バッテリ残量計
4105M-0201-010

各部の名称とはたらき　2

ハンドル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥操舵を行います。

アクセルレバー‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥車速の調整に使用します。

メインスイッチ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥電源の入切及びＬＯ（低速）モードとＨＩ（高速）モードの切替えを行ないます。

前後進切替えスイッチ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥前後進の切替えを行ないます。

バッテリ残量計‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥バッテリの残量および充電状況を表示します。

ブレーキ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ドライブ位置にするとモータのクラッチが接続されます。この状態では、アクセルレバーが操作されるまで電磁ブレーキがかかった状態となります。フリー位置にするとクラッチの接続が解除されます。

充電コネクタ　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥バッテリを車両に積んだまま充電する時に使用します。充電器のコネクタをここに差し込み充電を行います。

ブレーカーリセット　‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥過負荷がかかり、ブレーカーが落ちたときに使用します。スイッチを押すとブレーカーがリセットされます。

リフトスイッチ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥荷台を上昇または下降するときに使用します。

荷台固定ノブ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥荷台を取り外すときに使用します。

3 製品仕様

本製品の仕様

⚠ 注 意
・本製品の仕様を理解した上で、正しく使用してください。

名称・型式				EJ15
機械質量（バッテリ含む）			kg	130
最大作業能力			kg	150
寸法	全長		mm	1480
	全幅		mm	750
	全高		mm	1285
	ホイールベース		mm	850
	トレッド	前	mm	650
		後	mm	590
	最低地上高		mm	75
	床面高さ		mm	420
	リフト時最大床面高さ		mm	920
荷箱	形式			フラットデッキ式リフト
	荷箱寸法	長さ	mm	910
		幅	mm	600
駆動系	バッテリ容量（5時間率）		V/AH	12V/36AH×2
	モータ（30分定格出力）			DC24V直流モータ，900W×1
	駆動方式			前2輪直接駆動方式（ディファレンシャル付き）
	制動方式			モータ発電制動・電磁ブレーキ
	充電器			マイコン制御充電器
	タイヤ	前輪		4.10/3.50-5 （φ300ノーパンク）
		後輪		260×85（φ260ノーパンク）
性能	最高速度（前進・後進）		km/h	8（前進）・ 3（後進）
	登坂能力		度	15（空車）
	最小回転半径		m	1.2

※この仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

付属品明細

No.	部　　品　　名	個　　数	備　　考
1	取扱説明書	1	本書
2	充電器	1	
3	電源ケーブル	1	

使用前の準備

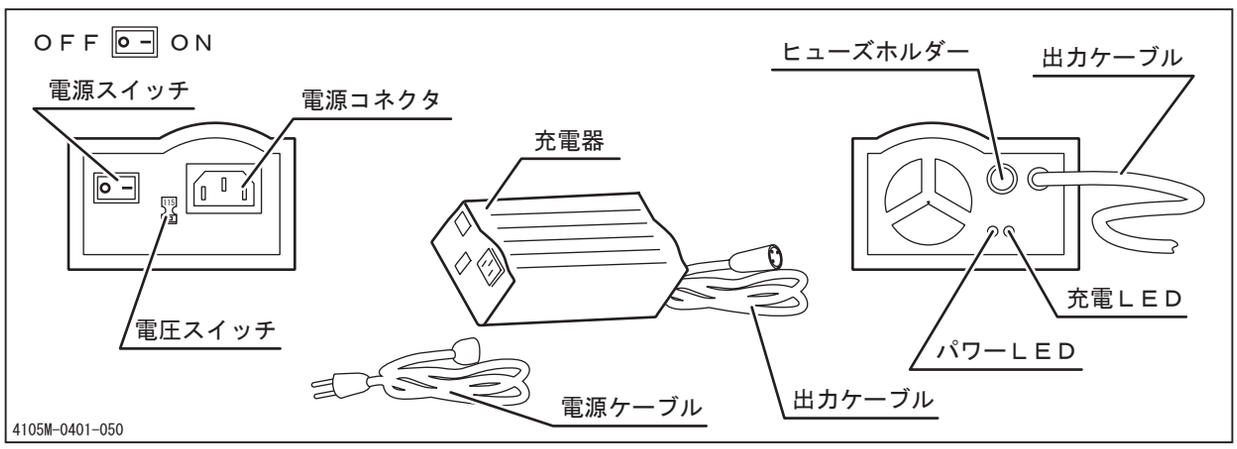
始業点検

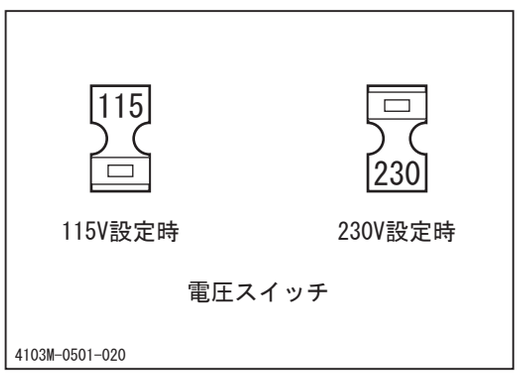
運転前には必ず始業点検を行ってください。
点検の要領については**「定期点検表」**（☞20ページ）を参照してください。

充電器の仕様と設定

⚠ 注 意

・充電器の電圧を正しく設定して使用してください。破損の原因になります。





充電器の電圧確認

付属の充電器は電圧スイッチによって対応電圧を変えられるようになっています。電圧スイッチは、出荷時に115V（日本の一般家庭用の100Vに対応しています）に設定されていますが、最初に使用する時は念のために確認をしてください。万が一230Vに設定されている場合は、電圧スイッチの設定を115Vに変更してから使用してください。

バッテリの充電

⚠ 警　告

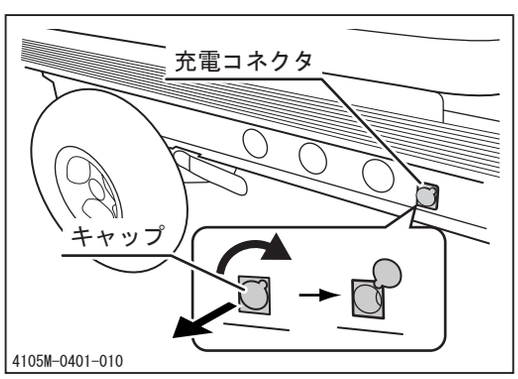
・バッテリから発生する水素ガスは引火性があるので、火気を近づけないでください。

・バッテリ液（希硫酸）が衣服や皮膚に付着した場合は、すぐに多量の水で洗い流してください。目に入った場合にはすぐに多量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

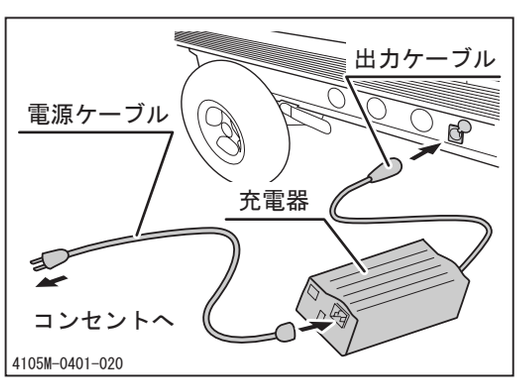
⚠ 注　意

・バッテリの点検および取り外しのときには充電器を取り外し、メインスイッチを［ＯＦＦ］にしてください。

・充電器に異常な現象が起こる場合は、すぐに充電器を［ＯＦＦ］にし、接続を確認してください。

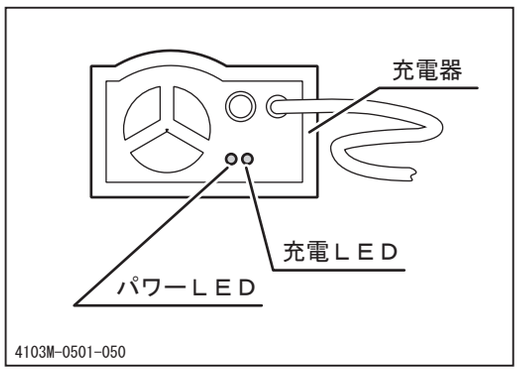


1. 充電コネクタのキャップを少し手前に引いて回し、コネクタを開けます。



2. 電源ケーブルを充電器に差し込み電源スイッチが［ＯＦＦ］であることを確認し、充電コネクタに充電器の出力ケーブルのコネクタを差し込みます。

3. 電源ケーブルをコンセントにつなぎます。

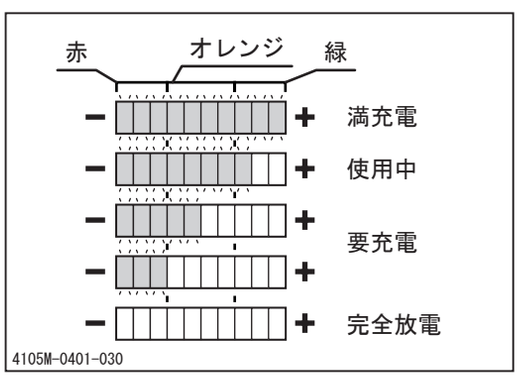


4. 充電器が確実に接続されたら、電源スイッチを[ＯＮ]にします。パワーＬＥＤが赤点灯します。充電ＬＥＤが黄点灯し充電中であることを示します。
5. 充電ＬＥＤが緑点灯したら充電完了です。
6. 充電が完了したら、電源スイッチを[ＯＦＦ]にし、充電器の出力ケーブルを取り外し、コネクタのキャップを元の位置に戻します。

アドバイス

- **購入後、最初に使用する時は必ず充電してから使用してください。**
- **充電時は「充電ＬＥＤメッセージ機能」（☞26ページ）も参照してください。**

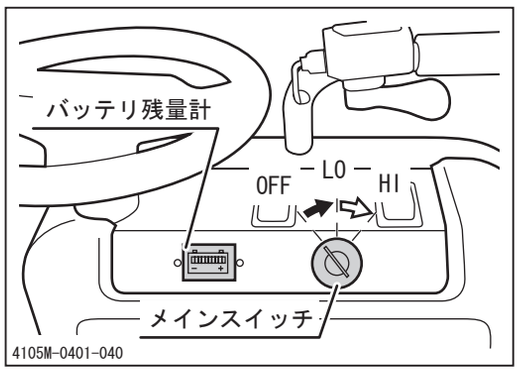
バッテリ残量の確認



バッテリ残量計はバッテリの充電容量の目安を表示します。10個のランプ全部が点灯しているときはバッテリが満充電であることを示します。オレンジ色のランプはバッテリ容量が少なくなっていることを示します。赤色のランプはバッテリ容量が残り少ないことを示します。

アドバイス

- **完全に放電するとバッテリが痛みます。バッテリはこまめに充電するようにしてください。また、赤色のランプのみの点灯または点滅になったらすみやかに充電してください。**
- **要充電状態から満充電までの充電時間の目安は約8時間です。**



1. キーを差し込みメインスイッチを[ＬＯ]または[ＨＩ]にします。
2. バッテリ残量計の表示を確認します。
3. バッテリ残量計の赤色の部分のみ点灯または点滅するとき、または全く点灯しないときはすぐに充電してください。

運転のしかた

⚠ 警　告

・この車両は公道では走行できません。

・操作時は本車両の周辺に人を近づけないでください。

・この車両の乗車定員は１名です。また乗車ステップの最大許容荷重は100kgです。

・立ち乗り運転時は必ず手すりを持って体を保持してください。

・坂道や傾斜地での走行は特に気をつけてください。

・5°～10°の坂道や傾斜地では、積載量75kg以下で使用してください。10°～15°の坂道や傾斜地では空車で使用してください。15°を超える坂道や傾斜地では本製品を使用しないで下さい。

・発進時は必ず周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進させてください。

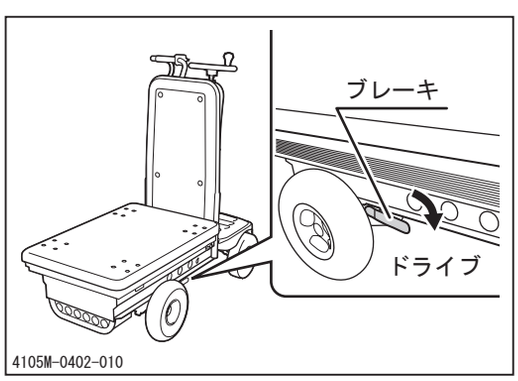
・旋回時は必ず周囲の安全を確認してください。

・急発進、急加速、急旋回、急停止を行わないでください。運転者が振り回されたり、車両がスリップや転倒をしたりするおそれがあります。

・走行中にメインスイッチを「ＯＦＦ」の位置にしないでください。

・停止の際は地盤の固い平坦地を選び、危険な場所には停車しないでください。

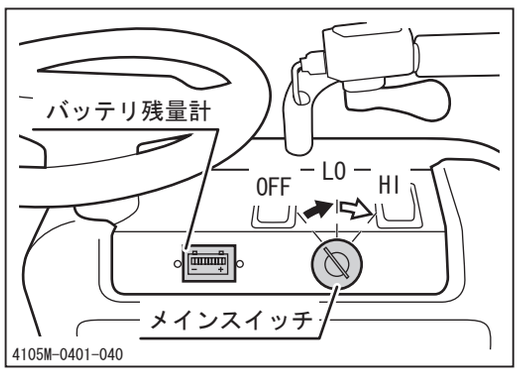
運転のしかた



1. ブレーキが[ドライブ]にあることを確認します。

アドバイス

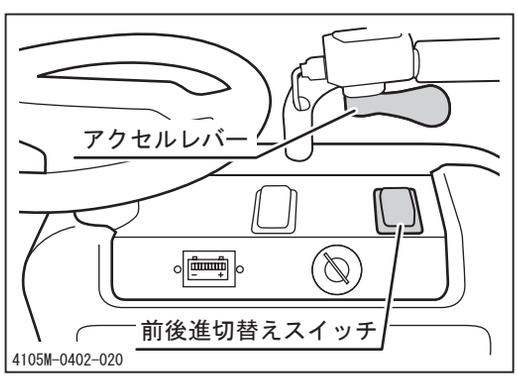
・ブレーキが[ドライブ]にないと車両が動きません。



2. キーを差し込み、メインスイッチを[ＬＯ]または[ＨＩ]にします。
3. バッテリ残量計が点灯します。

アドバイス

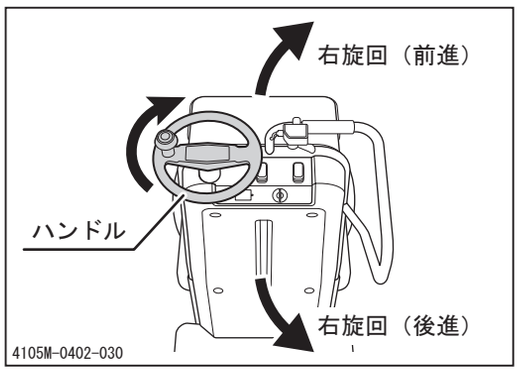
- メインスイッチ投入時はアクセルレバーを操作しないで下さい。メインスイッチ投入後約１秒間はコントローラーが自己診断を行なうので、アクセルレバーの操作を行なうとエラーが出ます。エラーが出た場合は一度メインスイッチを[ＯＦＦ]にしてから再度[ＯＮ]にしてください。
- バッテリ残量が少ないときはバッテリを充電してください。バッテリ残量計が点滅しているときは「バッテリ残量計エラー診断機能」（☞25ページ）を参照してください。
- 慣れるまでは[ＬＯ]モードで運転してください。



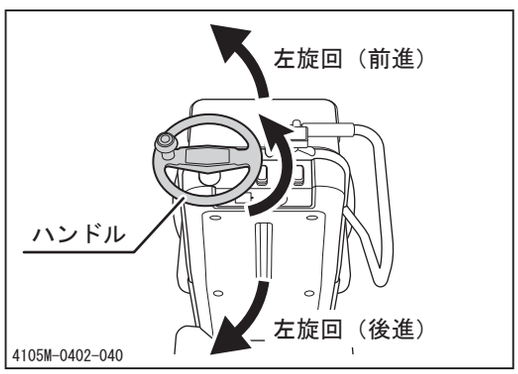
4. 前進する場合は前後進切替えスイッチが[Ｆ（前進）]になっていることを確認します。
5. アクセルレバーを押すと前進します。アクセルレバーの押し具合によってスピードを調整することができます。
6. 後進する場合は前後進切替えスイッチを[Ｒ（後進）]にすると、警告音が鳴り後進になっていることを警告します。
7. アクセルレバーを押すと後進します。アクセルレバーの押し具合によってスピードを調整することができます。

アドバイス

- 緊急時はアクセルレバーから手を放してください。停止します。
- 過積載または急傾斜では安全のため保護機能が働き駆動力を低下させるようにしています。
  この場合は積み荷を減らすか、急傾斜での使用をおやめください。



8. 右旋回したい場合はハンドルを右に回します。



9. 左旋回したい場合はハンドルを左に回します。
10. アクセルレバーを放すと自動的に停止位置に戻り、車両が停止します。
11. メインスイッチを[ＯＦＦ]にしてキーを抜きます。

アドバイス

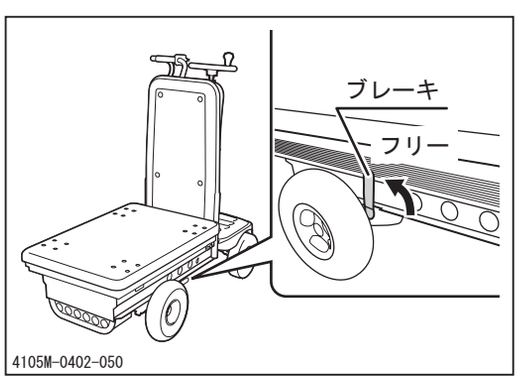
・停止距離は[ＨＩ（高速）]で約2m、[ＬＯ（低速）]で約1mです。これらの距離は空車状態での参考値であり、実際の停止距離は積載量や路面状況、車両の状態などによって変わります。

バッテリ切れの時の操作

⚠ 警 告

・緊急の場合を除きフリーにしないでください。車両が暴走するおそれがあります。

バッテリが切れたときは、ブレーキを[フリー]にして手動で操作できます。



1. 荷物が載っている場合は荷物を降ろします。
2. ブレーキを[フリー]にします。
3. 車両をゆっくり操作します。

アドバイス

・[フリー]時はブレーキが効きません。

作業のしかた

リフト操作

⚠ 警　告

・リフト操作時は必ず周囲の安全を確認してください。

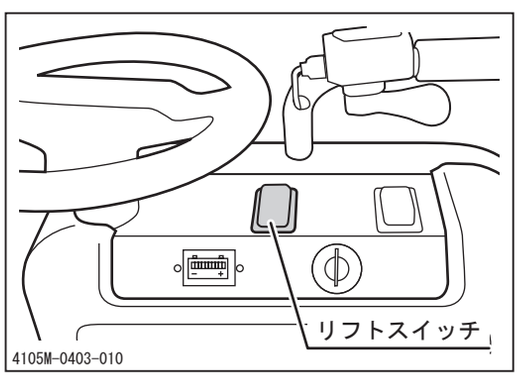
・傾斜地でのリフト操作は行わないでください。やむなく傾斜地でリフト操作を行う場合は、車体が水平になるようにしてください。車両が転倒するおそれがあります。

・荷台をリフトしたまま走行しないでください。車両が転倒するおそれがあります。

・荷台に人が乗ってリフト操作しないでください。

⚠ 注　意

・荷物を載せてリフトした状態で、保管しないでください。



1. キーを差し込み、メインスイッチを[ＬＯ]または[ＨＩ]にします。
2. リフトスイッチの[⧖↑(上昇）]を押して荷台を上昇します。
3. 荷台が上限まで上がると停止しますので、リフトスイッチを放します。
4. リフトスイッチの[⧖↓（下降）]を押して荷台を下降します。
5. 荷台が下限まで下がると停止しますので、リフトスイッチを放します。

アドバイス

・リフトが停止した状態でリフトスイッチを押し続けると故障するおそれがあります。リフトが停止したら速やかにスイッチを離してください。

定期点検表

⚠ 注 意

・点検や整備を怠ると事故の原因となります。本製品の正常な機能を維持するために下表を参考に定期点検を行ってください。

・始業点検は毎日、月次点検は1ヶ月に1回行ってください。

・下記の点検内容の中には、専門的な知識を必要とするものや所定の工具や計器が必要なものが含まれています。ユーザー自身で実施できない点検内容については販売店（当社センター）へ依頼してください。

項目			点検内容	点検時期		備考
				始業	月次	
電気系	バッテリ	バッテリの状態	十分な充電残量があること	○	○	
			液漏れ、破損などがないこと	○	○	
		充電状態	正常に充電できること		○	
			充電時にバッテリ、充電器の加熱、ヒューズ切断などがないこと	○	○	
	バッテリ残量計	エラーメッセージの有無	エラーメッセージがないこと	○	○	
	充電LED電	エラーメッセージの有無	エラーメッセージがないこと	○	○	
操作系	ブレーキ	ブレーキの位置	ブレーキが[ドライブ]に入っていること	○	○	
	アクセルレバー	アクセルレバーの戻り	手を放すとアクセルレバーが停止位置に戻ること	○	○	
		アクセルレバーの機能	アクセルレバーを操作することで車両が正常に前後進・停止すること	○	○	
	ハンドル	ハンドル操舵	過度の遊びが無く、スムーズに操舵できること	○	○	
車体系	タイヤ	タイヤの状態	タイヤに亀裂、磨耗がないこと	○	○	
		トレッドの溝	トレッド面に十分な溝があること	○	○	
	荷台	リフトスイッチの機能	リフトスイッチを操作することで荷台が正常に上昇・下降すること	○	○	
		リフトの機能	荷台の上下が円滑におこなわれること	○	○	
		荷台の着脱	荷台の着脱が確実に行なえること		○	
その他	フレーム	フレームの曲がり	フレームに曲がり、歪みがないこと		○	

消耗部品（交換部品）一覧表

項　　目	部品番号	交換インターバル	個　数	参　照
電気関係				
バッテリ	41050203000	不具合があれば交換	2	
充電器ヒューズ	41030031000	不具合があれば交換	1	☞27ページ
ヒューズ（モータ）	09801007005	不具合があれば交換	1	☞28ページ
ヒューズ（シリンダ）	09801004005	不具合があれば交換	1	
走行装置				
タイヤAssy（前）	41052205000	不具合があれば交換	2	
タイヤAssy（後）	41052201000	不具合があれば交換	2	

アドバイス

・タイヤなどのゴム製品は使わなくても劣化する消耗品です。2年毎、または傷んだときには、新品と交換してください。

・バッテリは完全に放電すると充電できなくなります。早めに補充電をしてください。長期間使用しないときは「長期保管のしかた」（☞30ページ）を参照してください。

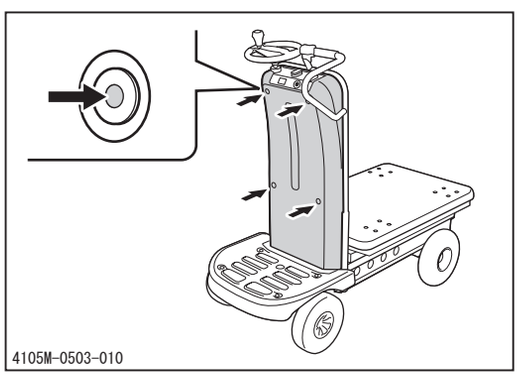
カバーの取り外し方・取り付け方

⚠ 注 意

・ カバーの取り外し・取り付け時に手や指をはさまないように十分注意してください。

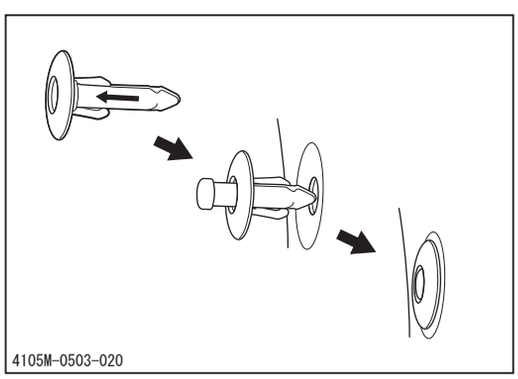
・点検および作業を行うために開けたり外したりしたカバーは、作業終了後、必ず元に戻してください。

コントロールパネル後カバー



取り外し

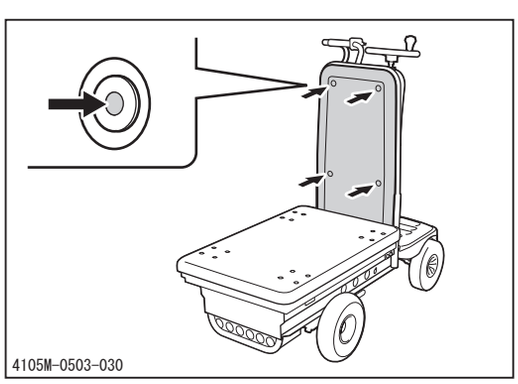
1. コントロールパネル後カバーを固定しているピン（４本）の中央部をドライバーなどで押し込みます。
2. コントロールパネル後カバーを取り外します。



取り付け

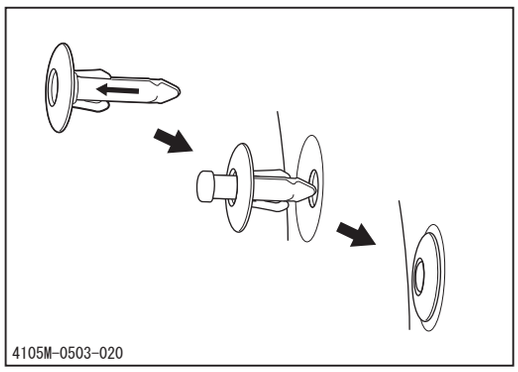
1. ピンの中央部を押し戻します。
2. コントロールカバー後カバーを取り付け、ピンを穴へ入れます。
3. ピンの中央部を指などで押し込みます。

コントロールパネル前カバー



取り外し

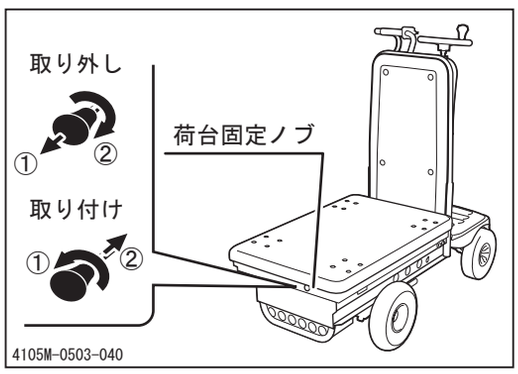
1. リフトが降りていることを確認します。
2. コントロールパネル前カバーを固定しているピン（４本）の中央部をドライバーなどで押し込みます。
3. コントロールパネル前カバーを取り外します。



取り付け

1. ピンの中央部を押し戻します。
2. コントロールカバー前カバーを取り付け、ピンを穴へ入れます。
3. ピンの中央部を指などで押し込みます。

荷台



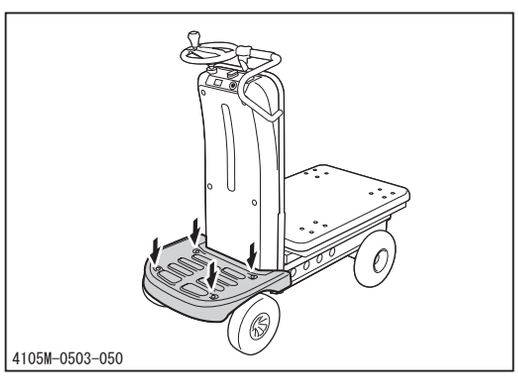
取り外し

1. 荷台固定ノブを引き出し、ひねって固定します。
2. 荷台をもちあげて取り外します。

取り付け

１．荷台後部のピンをフレームの溝に合わせます。
２．荷台前部のピンをフレームの穴に合わせます。
３．荷台固定ノブを回して押し込み荷台を固定します。

ステップ



取り外し

1. ボルト（４本）を外しステップを取外します。

取り付け

１．ステップをボルトで固定します。

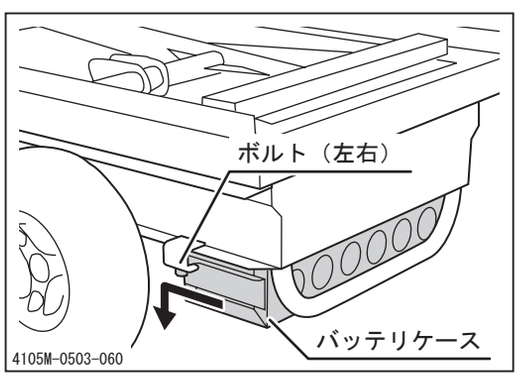
バッテリケース

⚠ 警　告

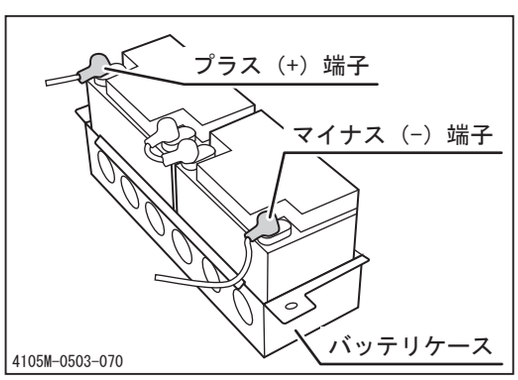
・バッテリを取り外す前にフレームへ接続されているマイナスケーブルを取り外してください。感電の恐れがあります。

・バッテリの端子に工具などが触れないよう注意してください。感電の恐れがあります。

・バッテリケースは重量があります。取り外し・取り付け時は指などを挟まないよう注意してください。



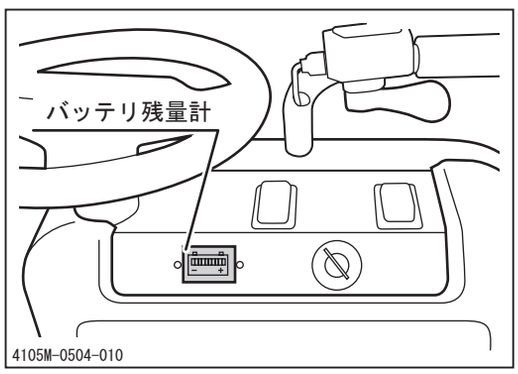
1. 荷台をはずします。
2. バッテリケース取付けボルトを取り外します。
3. バッテリケースをモータ側へずらして降ろします。



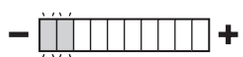
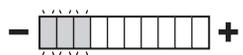
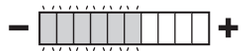
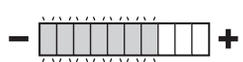
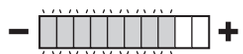
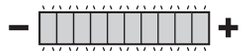
4. バッテリのマイナス端子を外します。
5. バッテリのプラス端子を外します
6. 車体を傾けてバッテリケースを引き出します。

メッセージ機能

バッテリ残量計エラー診断機能



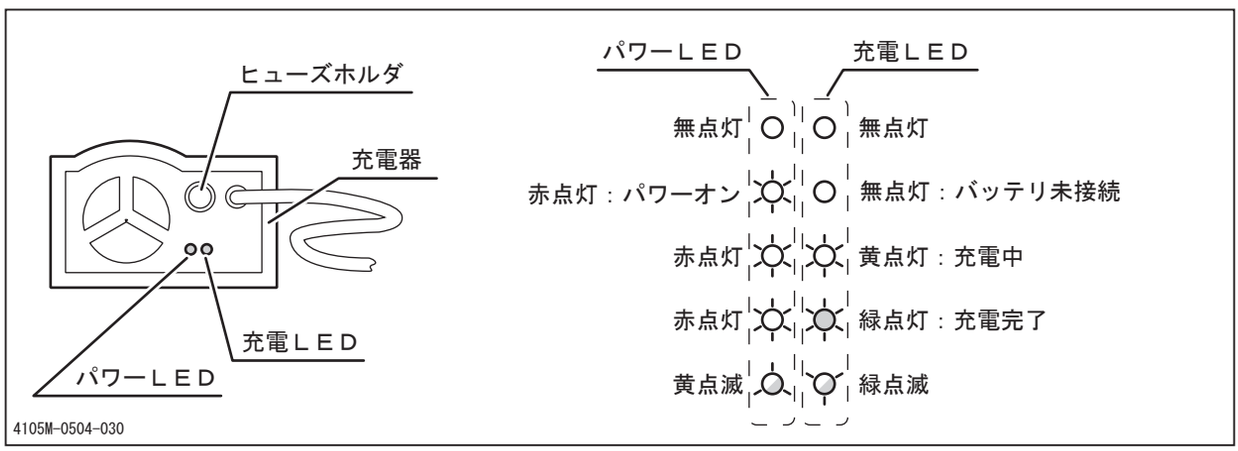
車両の電気回路を診断し、異常があれば表示します。通常時はランプが常時点灯しています。
制御回路に不具合がある場合はランプが点滅します。

点灯パターン	点滅個数	内容	処置
	常時点灯	正常	－
	1個×1回点滅	バッテリ接続不良またはバッテリ過放電	→バッテリの接続を確認します。点滅が続く場合はバッテリを充電します。
	2個×2回点滅	モータ接続不良	→モータの接続を確認します。点滅が続く場合は販売店へお問い合わせください。
	3個×3回点滅	バッテリ・モータ間の接続にショートがある	→販売店へお問い合わせください。
	6個×6回点滅	充電器の出力ケーブルが接続している	→充電器の出力ケーブルを抜いてください。
	7個×7回点滅	保護モードに入っている	→起動時にアクセルレバーが停止位置にあることを確認して再起動します。点滅が続く場合は販売店へお問い合わせください。
	8個×8回点滅	制御回路障害	→販売店へお問い合わせください。
	10個×10回点滅	過電圧	→販売店へお問い合わせください。

4105M-0504-020

エラー時はエラーの内容によりバッテリ残量計のランプが所定の回数点滅します。上の表でエラーメッセージとランプ位置の関係をご確認ください。

充電ＬＥＤメッセージ機能



充電器には、電源が入っていることを示すパワーＬＥＤと、充電状況と回路の状況を示す充電ＬＥＤが付いています。

パワーＬＥＤ	充電ＬＥＤ	状態	対処方法
無点灯	無点灯	・電源が入っていない	―
赤色点	無点灯	・電源[ＯＮ]、バッテリ無接続	・充電器スイッチを[ＯＦＦ]にし、バッテリを接続して再度[ＯＮ]にします。また、ヒューズホルダをはずしヒューズを確認します。
赤点灯	黄点灯	・充電中	―
赤点灯	緑点灯	・充電完了	・充電器スイッチを[ＯＦＦ]にし、バッテリコネクタを外します。
黄点滅（短時間）	緑点滅（短時間）	・充電中	・短時間の点滅は正常な現象です。長時間（40分以上）黄／緑点滅が続く場合はバッテリが破損している可能性がありますので販売店へご相談ください
上記以外の組み合わせ		・回路、接続またはバッテリの異常	・直ちに充電器スイッチを[ＯＦＦ]にし、充電器とバッテリの接続を確認します。接続に異常が見られない場合は販売店へご相談ください。

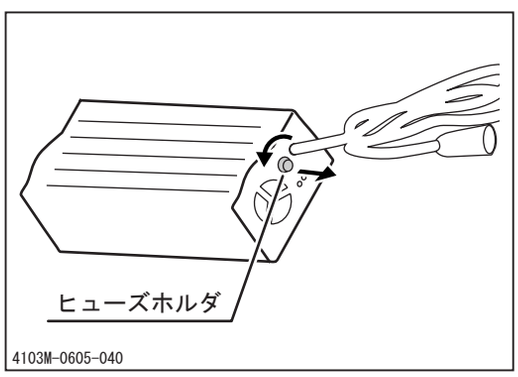
保護機能

充電器ヒューズ

⚠ 注　意

・ヒューズを交換する前に、過電流の原因を取り除いてください。過電流の原因を取り除かずにヒューズを交換しても、再度ヒューズが切れます。

・ヒューズは必ず指定容量のものと交換してください。故障する恐れがあります。



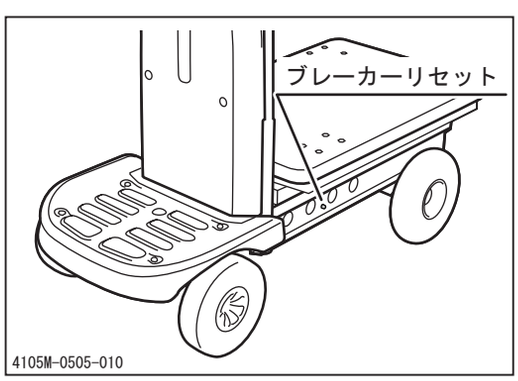
1. 充電器のスイッチを[ＯＦＦ]にし、電源ケーブルをコンセントからはずします。
2. ヒューズホルダをはずし、ヒューズを交換します。
3. ヒューズホルダを取り付けます。

アドバイス

・指定ヒューズ：☞21ページ

ブレーカー機能

本製品には、過電流時に電流を遮断し、車体への障害を防ぐブレーカー機能がついています。ブレーカーが作動した時は、ブレーカーリセットを押してブレーカーをリセットします。



ブレーカーのリセット

1. メインスイッチを[ＯＦＦ]にします。
2. 過電流の原因を取り除きます。
3. ブレーカーリセットをカチッと音がするまで押します。

アドバイス

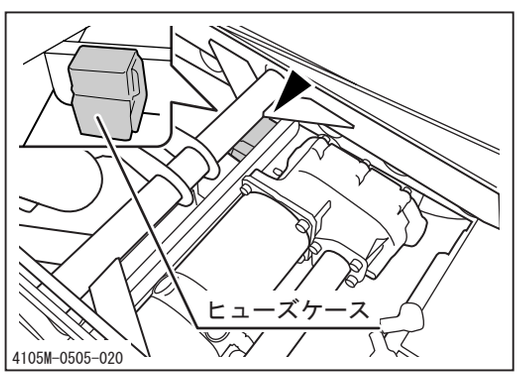
・ブレーカーが作動する原因として配線の断線や挟み込みが考えられます。リセットしてもブレーカーが作動する場合は販売店にお問い合わせください。

モータヒューズ、シリンダヒューズ

⚠ 注 意

・ヒューズを交換する前に、過電流の原因を取り除いてください。過電流の原因を取り除かずにヒューズを交換しても、再度ヒューズが切れます。

・ヒューズは必ず指定容量のものと交換してください。故障する恐れがあります。



1. 荷台をはずします。
2. ヒューズケースを開き、固定ネジをはずしてヒューズを交換します。
3. ヒューズケースを閉じます。
4. 荷台を取り付けます。

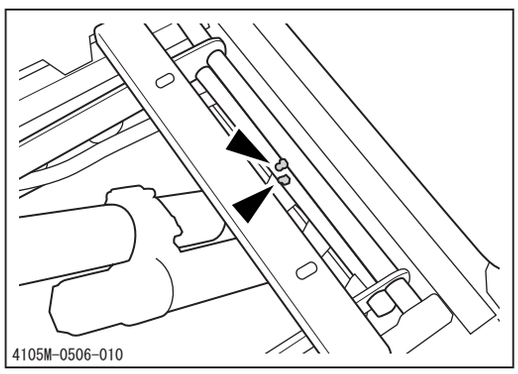
アドバイス

・指定ヒューズ：☞21ページ

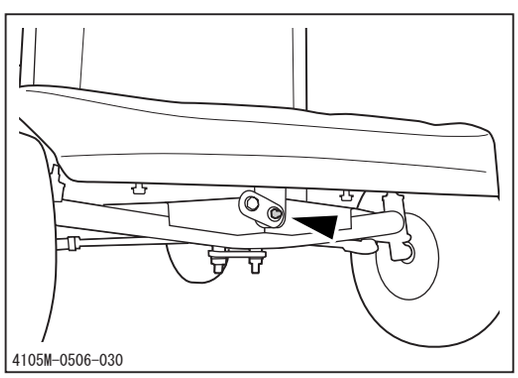
給脂

⚠ 注　意

・給脂がおろそかになると、焼き付きや錆び付きの原因となり、作動が円滑に行われなくなるおそれがありますので、定期的に給脂を行ってください。



1. 荷台を外します。
2. リフト・リンケージ軸２箇所へ市販のグリースポンプで給脂します。



3. スイング車軸のピボットへ給脂します。

アドバイス

・指定グリース：シャーシグリース
・手動式のグリースポンプを使用の場合は5～6回突いてください。途中でポンプハンドルが重くなったら、直ちに給脂を中止してください。
・エア式のグリースポンプを使用の場合は2～3秒で十分です。

5 保守・お手入れ

使用後のお手入れ

⚠ 注 意

・モータや操作パネルの水洗いはしないでください。水の浸入による故障や錆び付きのおそれがあります。

・付着物は凍結して故障の原因となりますので、きれいに取り除いてください。

・凍結して運転不能となった場合は無理に動かさないでください。

1. 使用後は車両に付着した草や泥などの異物を取り除きます。
2. 倉庫、納屋などに保管する場合は、カバー等をかけて保管します。
3. 使用後は必ず充電してください。完全に放電するとバッテリが痛みます。

長期保管のしかた

⚠ 注 意

・モータや操作パネルの水洗いはしないでください。水の浸入による故障や錆び付きのおそれがあります。

・付着物は凍結して故障の原因となりますので、きれいに取り除いてください。

・湿気やほこりの多い場所に格納しないでください。

1. 車両に付着した草や泥などの異物を取り除きます。
2. 防水カバー等をかけて保管します。

アドバイス

・バッテリは使用しなくても放電してしまいます。約3ヶ月は蓄電していますが、放電してしまわないうちに充電するとバッテリを長持ちさせることができます。

不具合診断表

・不具合と考えられる現象が起きた場合は本製品の使用を停止し、下記の不具合診断表を参照して適切な処置をとってください。不具合診断表に記載されていない不具合が発生した場合や、適切な処置をとっても不具合が解消されない場合は、販売店（当社センター）へ連絡してください。

・下記の処置内容の中には、専門的な知識を必要とするものや所定の工具や計器が必要なものが含まれています。ユーザー自身で実施できない処置内容については販売店（当社センター）へ依頼してください。

発生箇所	不具合現象	考えられる原因	処置	参照
操作関連	メインスイッチを「ON」にしても電源が入らない（バッテリ残量計が点灯しない）	コネクタ類の接続不良	→コネクタ類の接続を確認する	
		バッテリ・コネクタの接続不良	→バッテリ・コネクタの接続を確認する	
		バッテリの充電不足	→充電する	13ページ
		ブレーカーが落ちている	→ブレーカーをリセットする	27ページ
		スイッチ、制御回路、配線等の不良	→販売店へお問い合わせください	
		その他（上記以外）	→販売店へお問い合わせください	
	ブレーカーがすぐに落ちる	断線、ショートしている	→すぐにメインスイッチを「OFF」にし、販売店へお問い合わせください	
		ブレーカーの不良	→販売店へお問い合わせください	
		その他（上記以外）	→販売店へお問い合わせください	
	ヒューズがすぐに飛ぶ	断線、ショートしている	→すぐにメインスイッチを「OFF」にし、販売店へお問い合わせください	
		過積載で登坂	→坂道での使用については**「安全に関する注意事項」**を参照してください	
		過積載	→積荷を減らす	5ページ

6 不具合発生時の処置

発生箇所	不具合現象	考えられる原因	処置	参照
操作関連	ヒューズがすぐに飛ぶ	車軸回りに草などが堆積あるいは巻き付いている	→車軸を清掃する	
		その他（上記以外）	→販売店へお問い合わせください	
	バッテリ残量計が点滅している	制御回路、配線等の不良	→**「バッテリ残量計エラー診断機能」**を参照してください	25ページ
	アクセルレバーを操作しても車両が動かない	バッテリの充電不足	→充電する	13ページ
		アクセルレバーの作動不良	→販売店へお問い合わせください	
		スイッチ、制御回路、モータ、配線等の不良	→販売店へお問い合わせください	
		ヒューズの溶断	→ヒューズを交換する	28ページ
		ブレーキがフリー位置にある	→ブレーキをドライブ位置にする	
		その他（上記以外）	→販売店へお問い合わせください	
走行関連	速度が遅い	アクセルレバーの操作	→アクセルレバーを確実に操作する	17ページ
		バッテリの充電不足	→充電する	13ページ
		過積載で登坂	→坂道での使用については**「安全に関する注意事項」**を参照してください	5ページ
		過積載	→積荷を減らす	5ページ
		車軸回りに草などが堆積あるいは巻き付いている	→車軸を清掃する	
		モータ、制御回路、配線などの不良	→販売店へお問い合わせください	
		その他（上記以外）	→販売店へお問い合わせください	
	速度が速すぎる	制御回路の不良	→販売店へお問い合わせください	
	スピード調整が働かない	制御回路の不良	→販売店へお問い合わせください	

発生箇所	不具合現象	考えられる原因	処置	参照
走行関連	アクセルレバーから手を放しても車両が完全に停止しない	アクセルレバーに異物が挟まっている	→異物を取り除く	
		ブレーキ、制御回路不良	→販売店へお問い合わせください	
	ハンドルを切ってもタイヤが曲がらない	ハンドルリンケージの不良	→販売店へお問い合わせください	
充電関連	バッテリの消耗が早い	過積載で登坂	→坂道での使用については**「安全に関する注意事項」**を参照してください	5ページ
		過積載	→積荷を減らす	5ページ
		車軸回りに草などが堆積あるいは巻き付いている	→車軸を清掃する	
		モータ、制御回路、配線などの不良	→販売店へお問い合わせください	
		バッテリの劣化	→バッテリを交換する	
	充電できない	充電器、バッテリ等の接続不良	→接続を確認する	
		バッテリの劣化	→バッテリを交換する	
	充電器のＬＥＤが点滅している	充電器の障害	→**「充電器ＬＥＤメッセージ機能」**を参照	26ページ
	充電器のヒューズが飛ぶ	断線、ショートしている	→販売店へお問い合わせください	
	充電器、バッテリが異常に加熱する	充電器またはバッテリの障害	→販売店へお問い合わせください	
荷台関連	リフトできない	電動シリンダの接続不良	→接続を確認する	
		ヒューズの溶断	→ヒューズを交換する	28ページ
		電動シリンダ、リフト機構の不良	→販売店へお問い合わせください	
	リフト速度が遅い	バッテリの充電不足	→充電する	13ページ
		過積載	→積荷を減らす	5ページ
		リフトリンクの給脂不足	→給脂する	29ページ
		電動シリンダ、リフト機構の不良	→販売店へお問い合わせください	
	荷台が降下する	電動シリンダ、リフト機構の不良	→販売店へお問い合わせください	

7 本製品の移送

トラックへの積み降ろし要領

⚠ 警 告

・トラックは平坦な場所に停め、必ず輪止めをしてください。

・作業中は車両およびアユミ板の周辺には人を近づけないでください。

・アユミ板は、十分な強度（機械質量と運転者の体重の総和に十分耐え得ること）、幅（30cm以上）、長さ（トラックの荷台床面高さの4倍以上）のあるすべり止め付きのものを使用してください。

・アユミ板のフックは荷台との段差がなく、また、ずれないように確実にかけてください。

・積み降ろしは歩行運転で行ってください。

・前進でゆっくりと積み込んでください。

・アユミ板の上で旋回を行わないでください。転落のおそれがあります。

・輸送中に車両が動かないようにトラックの荷台に確実に固定してください。

1. トラックを平坦な場所に停め、輪止めをします。
2. アユミ板のフックを荷台との段差がなく、また、ずれないように確実にかけます。
3. 歩行運転、前進でゆっくりと積み込みます。
4. **「運転のしかた」**（☞17ページ）の手順に従い、車両を停止し、ロープ、ワイヤ等で車両を荷台に確実に固定します。